令和２年度自己評価結果

1. 幼稚園の教育目標

・情操を豊かにし、優しい心を育てます。

・健康で元気な、心の安定した子どもらしい子どもに育てます。

・友達との集団生活に素直に入ってゆける基礎をつくります。

・自分で考え、判断し、行動することが出来るようにします。

・正しいことばを使い、ありがとうの言える子どもに育てます。

1. 重点的に取り組む目標や計画

　　・安心感を持って園生活を送り、様々な経験を通して、お友達とのつながりを感じなが

　　　ら達成感や充実感を味わう。また、やり遂げることを通して自信を持つ。

　　・他者を思いやる心、良好な人間関係への基盤を作る。

1. 評価項目の達成及び取り組み状況

|  |  |
| --- | --- |
| 評価項目 | 取り組み状況 |
| （1）保育の計画性 | ・今年度は新型コロナの影響もあり、例年通りの保育とはいかなかったが、その状況の中で何が出来るか何を大切にしていくかを考え保育計画を考えた。・日々の保育の振り返りを大切にしながら事前に計画を立て、繋がりをもって保育が進んでいくよう心掛けた。・園の教育理念、環境等を職員がきちんと理解し、確認し合い共有できるようにする。・子ども達が自分たちの力で、より主体的に活動できるよう環境を整えていく。 |
| （2）保育の在り方・幼児への対応 | ・クラスの様子など普段から伝え合えるようにし、職員間で共有し、相談したり意見を伝え合いながら保育に取り組んでいる。・行動を急かせる言葉掛けをしてしまうことに対して、集団を意識しながらも一人ひとりを理解し、保育者の方で余裕のある時間作りをしたり、子どもが自ら見通しを持って意欲的に行動できるように工夫していく。 |
| （3）地域の自然や社会とのかかわり | ・コロナの影響により地域の方や小学生との交流の場を殆ど設けることが出来なかったが、お世話になっている方や身近な人の存在を感じ感謝出来るよう工夫して保育に取り組んだ。状況により外部の方との関わりが難しい部分もあるが、出会った方に明るく気持ちよく挨拶をしたりという基本的なことから大切にしていきたい。・小学生からも小学校についての絵やお手紙をもらい、間接的ではあったが小学生の温かい思いが伝わり、年長児は期待を持つことが出来た。 |

1. 総合的な評価結果・次年度への取り組み

・今年度もコロナの影響を受けながらの保育となってしまい、今までのように保育が出来ないところもあったが、その状況の中で安全を確保しながらも子どもたちと出来ることを考えながら取り組むことが出来た。しかし、出来ることの範囲が限られてしまったので引き続き、職員間でアイデアを出し合い新たに出来ることの見直しをしていきたい。

・このようなコロナ禍の中だからこそ、人と人とのつながり・心のつながりを大切にしながら、又何気ない日々のありがたさを感じながら保育に取り組んでいく。